# <sub>週刊</sub> **NEWSLETTER**

❖スーパーGT、Super Formula、 Flなどのモータースポーツに携わ る理学療法士(フィジオ)になりた くて「オートポリス」が近い熊保 大を選びました。熊本にはモタス ポ関係者がたくさんいるので安心 しました。韓国語とTOEICをがん ばって留学したい。

(PT/たかちゃん)

夢と希望にあふれる新 | 年生。 活気が戻ったキャンパスで、今 年も聞いてみました。

「You は何しにクマホ大へ?」

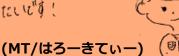
新入生に

Duは何しにクマホ大へ?



私(፤ 臨床検査技師の 国务資格取得 た目的として食保に人際しまいにも

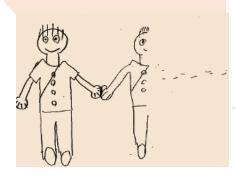
将来、警察官にはって 捜査なかをなのの 夢で、熊保で夢に近代為に かんばりなしにす!



❖私は小さい頃から美 術に触れていて、アトリ 工教室に通ったり、美術 部に入ったりと普通の人 よりかなり制作活動に取 り組んでいました。高校 で美術科を受験し、入学 してより専門的な美術を 学んでいた時、進路を選 択する場合が出てきまし た。そこで、美術の道に 行くか?と考えた時にこ の特技を人のために生か したいと思いこの道を選 びました。

(OT/ガノソリ)

◆自分は誰にでもよりそえ る看護師になるためにこの大 学へ来ました。白衣の似合う かっこいい看護師になりた い! (NS/12時には帰ります)





NS/髙橋ひなた

2,2km

觚半

行きやすい

◆親戚や一緒に住んで いる家族、友達に実際言 語聴覚士の方にお世話に なっている人がその友達 から聞いたり見たりして、 とてもやりがいのある仕 事だと感じ、近くにあっ たからオープンキャンパ スに行ってみてこういう 大学で勉強したいと感じ たから。 (ST/A)

#### 新入生に 聞きました

## Youは何しにクマホ大へ?



◆たくさんの人を笑顔にできるSTになるため に熊保大で豊かな人間力を養いたい

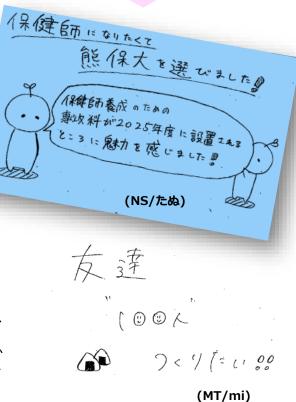
(ST/Nata)



◆熊保に入学した高校の先輩のインスタのストーリーを見て楽しそうな大学だと思ったから! 熊保だから、できたことだったり熊保に入ったから思ったことなどの熊保でよかったと思う経験をたくさんしたいです! (OT/するめいか)

◆熊保大のオープンキャンパスでの学長さん の話されていた内容に感銘を受けたから。また、 どこのオープンキャンパスよりも楽しく、先生 方や先輩方が本当に優しかったから。様々な体 験をさせてもらい、その中で最新機器の多さに 驚き、自分も変わり続ける医療に対応できる理 学療法士になりたいと思ったから。

(PT/みかん)



◆自分自身が吃音をもっているので、言語聴覚士になって、同じ悩みを抱える人やその他の人のためになりたいと思って志望しました。言語聴覚士になるための専門の知識をつけるために日頃の学習からしっかり頑張りたいです。 4年後の国試を一緒に受けるクラスメイトとは、皆で高めあいながら、皆で合格できるように高い志を持ち続けたいです。 (ST/んぽちゃむ)

◆駅から歩いていけるというロケーションの良さと周りが田と山に囲まれて雰囲気が良かった。 国家試験の合格率が高く、質の高い講義が受けられると思った。実習で医療の現場を見て、学び、将来、両親をと共に病院で働けたら楽しいだろうと思う。(PT/獣男爵)

◆挑戦も努力もしてこなかった自分を変えに来ました! この4年間で留学などに挑戦し、今まで大してしてこなかった勉強と全力で向き合います。(MT/NASW000)

◆作業療法士を目指すことはもちろんそうなのだが、いろんな人と出会い、交流をしたい。父に「友人は大切に」と言われ続けて育ったので、ここははずさないように大学生活を過ごしていきたい。楽しむときは全力で楽しみ、しっかりしないといけないところはしっかり取り組んで、メリハ

リをつけた行動ができるようにしていきたいと思う。(OT/熊良悟)

" I can do it!!" (NS/聖栗)



**◇★**☆しごでき★☆ナースになるため! 両親に恩返しするため!(NS/メル)

# 新著拝見

### 『運動学習 – 理学療法のための最新知見と 障害別アプローチの実際』

藤澤宏幸、鈴木博人編著、メディカルプレス



山本 良平准教授

各種の運動技能を獲得する過程である「運動学習」において は、知覚と運動との相互作用が重視されています。そして、そ の過程を体系化した「運動学習理論」は、理学療法の治療計画 の立案に重要な位置を占めます。本書は理学療法実践の観点か ら最新知見(総論)を整理し、脳血管障害、スポーツ障害など 障害別のアプローチ法(各論)も紹介しています。

総論と各論の計17章で構成され、国内の大学や医療機関に籍 を置く20人が分担執筆。本学リハビリテーション学科理学療法 学専攻の山本良平准教授も運動学習を強化する手法のひとつで ある「フィードバック」の項(第6章「フィードバックによる 動作指導と連携学習」)を担当しています。

この中で、山本准教授はフィードバックに関する基本的事項 を押さえた上で、学習者の状況に応じた実践法などについて体 系的に解説。視覚、聴覚情報を用いたフィードバックの効果に 関する先行研究などを紹介しています。

山本准教授は「人が体の動かし方を習得することを運動学習と言います。病気やけがで思うように体が動かせない患者様たちの支援やスポーツの現場で役立てられています。(本書では)分かりやすい表現を使うように心がけたので、運動学習について学ぶ最初の1冊にしてもらえるとうれしいです」と話しています。(税込み4180円)



# 新任教員私の研究[2]

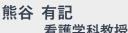
本年度、本学に赴任した教員の皆さんの研究内容を紹介します。

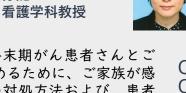


横山 俊朗 医学検査学科教授

がん細胞の形態学的な判定は、様々な 形態学的特徴を理解し判断することが使 命です。

腫瘍細胞の形態は多彩で、細胞のダイナミックな現象が形態に反映した総合的な視覚的所見です。次元解析(フラクタル解析)は、スケールに関係なく共通の現象を比較することができ、観察者の経験則に基づいた微視的な形態差を定量化する技術で、私は従来の測定方法と次元解析手法の組合せを用いて新しい評価を探る研究を行っていきます。





これまで、終末期がん患者さんとご 家族のQOLを高めるために、ご家族が感 じるストレスの対処方法および、患者 さんとご家族のための終末期ケアモデ ルの開発などを行ってきました。今は、 死にゆく際に生じる身体の変化の伝え 方に関する研究に取り組んでいます。

患者さんとご家族が少しでも安心して過ごすことができるように、また、大切な方と一緒に過ごした時間がその後の人生の糧となるように、終末期ケアに関する研究を続けていきたいと考えています。

### お世話になりました



#### ◇伊吹 唯 講師 (共通教育センター)

4年前、大学院を出てすぐに着任いたしました。何もわからないひよっこを、コロナで大学が大変な時にもかかわらず、本当にあたたかく迎えていただき、今日まで、たくさんの先生方、職員の皆さまにご指導をいただき、感謝しております。こちらでの4年間は、私の一生の財産です。ありがとうございました。

退職者

QOL高める終末期ケ

### ■全学科・専攻対象に4年生保護者会

全学科・専攻を対象とした4年生保護者会を20日(土)、 開催しました。学長挨拶・概況説明、学部長挨拶に続き、 各学科・専攻に分かれての分科会、個別面談を行いました。 当日は138組158人の保護者の皆さんに参加いただきました。 保護者からは「全体会・分科会で保護者・教職員が力を 合わせて学生の努力を支えていかねばならないというお話 を聞いて、ぜひとも面談をして帰らねばと思いました」と いう声も聞かれました。

4年生は実習、就職活動、国家試験と極めて重要な取り 組みが求められる学年です。学生が進路を自己決定するために、保護者と教職員が力を合わせてサポートしていきた いと思います。(就職・実習支援課)



138組158人の参加があった4年生 保護者会

### インフォメーション

週間行事予定(5月 | 日~13日)

5/9 (木) ~ 5/12 (日)

国際シンポジウム (大邱保健大学)

◇「週刊NEWSLETTER」238号は5月13日(月)に配信します。